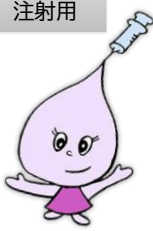


インフルエンザとインフルエンザワクチンについて (インフルエンザワクチン説明用紙)

注射用



《インフルエンザとは？》

普通の風邪よりも症状が重く、非常に感染しやすい為、毎年冬を中心に流行を繰り返します。インフルエンザにかかると、抵抗力の弱い高齢者や乳幼児は重症化しやすく、命に関わることもあります。インフルエンザには、大きく分けてA型とB型の2つの型がありますが、広く流行するのはA型です。

《ワクチンの効果》

インフルエンザウイルスは毎年少しずつ形を変える為、その年毎に流行を予測してワクチンをつくります。今ではほぼ確実に流行を予測できるようになっています。しかし、ワクチンを受けていてもインフルエンザにかかるのを完全に防ぐことはできません。

それはワクチンの効果が一人一人違うからです。もともとワクチンは人の免疫反応(人が病気を防ぐ為に生まれつき持っている力)を利用していますので、ワクチンを受けた人全員に抵抗力がつくとはかぎりません。これは全てのワクチンに共通していえることです。

ですからワクチンを受けていても、インフルエンザにかかって、熱や咳が出ることはあります。しかし、ウイルスが全身に広がることを防ぐことができるので、重症化は防ぐことができますと言われています。

《標準の接種年齢と回数》

生後6か月から受けることができます。12歳までの方は、1回目から2～4週間あけて2回うちます。(できたら4週間ちかくあけます)13歳以上の方は、1回のみで大丈夫です。

接種後、2週間くらいで効果があらわれ、約半年間続きます。

《予防接種を受ける前の注意》

- ・受ける予防接種について、よく理解しておきましょう。
- ・接種当日は、お子さんをよく観察し、体の具合が悪くないか確かめましょう。午前中に1回検温をしましょう。
- ・予診票には当院の玄関にある体温計(非接触式)で計った体温を記入して下さい。
- ・卵アレルギーが強い方は、アレルギー症状がでることがありますので、接種前に先生とよく相談をして下さい。

《予防接種を受ける時の注意》

- ・腕を十分に出して、受ける準備をして下さい。
- ・接種時に、接種確認票(お名前を記入していただいた用紙)を看護師に出して下さい。(お名前を確認するためです)

《予防接種を受けた後の注意》

- ・当日の入浴は大丈夫ですが、接種部位をこすらないようにして下さい。
- ・当日は激しい運動は避けて下さい。
- ・予防接種の副作用に注意しましょう。

接種部位が腫れたり、赤くなることがありますが心配ありません。特に、接種後30分はお子様の様子をよく観察して、変わったことが起きたら、すぐに病院に連絡するようにしましょう。

インフルエンザ1回目:左上腕 / インフルエンザ2回目:右上腕

※診察しやすく、腕も出しやすい服装でお願いします。

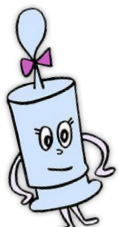
《予防接種を受ける手順》



接種後1～2分で血が止まります。テープを剥がし蓋付きのゴミ箱に捨ててお帰り下さい。

心配な方は15分ほど待合いでお待ちいただいても大丈夫です。帰宅後何かあれば当院にご連絡ください。

時間外の場合は、総合保健医療センターをご利用下さい。(0568-84-3060)



こどもゆめクリニック

〒487-0034 愛知県春日井市白山町8-2-6

Tel 0568-51-3907